

平成 30 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

不老町地域ケアプラザ

■ 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのように行ったのか、具体的に記載してください。

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分

1 全事業共通

地域の現状と課題について

30年度も各地区で様々な活動が行われました。地域ごとの結びつきが強く担い手の方々の主体的な活躍により、地域の実情に合わせた活発な取組みが行われました。外国籍が多い地区では多言語チラシの作成を行うなど工夫を凝らした取組みが実施されました。各々、給食会やサロンをはじめ、お祭り・運動会等、多様な世代が参加できる活動が各地区で活発に行われました。一方で、担い手の高齢化や次世代の育成が各地区で課題となっています。

(1) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

○個別から地域の相談まで、身近な相談機関としての役割を理解し、それぞれの専門性を活かしながら、分野を超えた相談支援に取り組みました。民生委員など地域の担い手と連絡を密にとり、ニーズに応じては出張相談を行い、適切な支援につながるよう努めました。

○包括部門では毎日、朝夕10分ミーティングを実施し、個別ケースの共有を図ったほか、支援内容によっては、区のケースカンファレンスにつなぎ情報を共有しました。そのほか、地域で把握した情報はファイルサーバーで共有し、各職種の相互連携を図りました。

○その他、外国籍の方が多い地区もあり、「ケアプラザまつり」で国際交流ラウンジに協力いただき、外国籍の方の相談コーナーを設けるなど、多文化共生に向け、工夫した取組みを行いました。

(2) 各事業の連携

○月に1回以上、5職種で連携会議を開催し、各部門で得た社会資源等の情報を共有したほか、ニーズに合わせた事業の企画、実施など、職種間での連携に取り組みました。

○第一北部地区で実施した、コグニサイズの講座（月1回）は、生活支援コーディネーターが住民とのつなぎ役となり、包括職員との共催事業として実施。結果として、介護予防・認知症予防の取組みとして、地域事業（元気づくりステーション）として地域に根付くことができました。

(3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

○法人独自で取り組む目標支援制度を効果的に活用し、必要に応じた面談や目標に対するアドバイスを実施し、人材育成に取り組みました。職場の環境づくりにも重点を置き、誰もが相談しやすい組織風土づくりにも努めました。

○OFF-JT を積極的に取り込み、研修や事例検討会などの機会を設けました。

○公の事業であることを認識し、一部に利益が偏らないよう公正・中立な立場で支援に臨みました。

(4) 地域福祉保健のネットワーク構築

○こども・障害・高齢など、それぞれの分野の特徴を捉えながら、垣根を越えたネットワークの構築に取り組みました。

○こども分野では、「こども食堂」3団体の連絡会を年2回開催し、各団体の抱えている課題や充実した取り組み内容を共有することができました。

○障害分野では、生活困窮者相談支援事業の登録を行い、社会復帰に向けた障害をお持ちの方へ訓練の場を提供し、自立支援に協力しました。

○高齢分野では、ケア会議や協議体の開催など、地域課題の把握や解決に向けた話し合いの場を設け、住民・関係者間での情報共有を図ることができました。

○「第2回ケアプラザまつり」では、貸館登録のある福祉保健団体や地区のキーパーソンとなる方々へ参加を打診し、活動を通じて分野の垣根を越えたボランティアネットワークの輪を広げることができました。

(5) 区行政との協働

○「中なかいいネ!」第3期計画の推進に向け、住民・区役所・区社会福祉協議会と連携し、事前の打ち合わせを綿密に行った上で、計画推進に向けた話し合いに協力しました。また、各地区の取り組みへの参加等を通じ、5地区ある地区の特徴や実態把握に努め、知り得た情報はチーム会議や電子メールなどを活用しチームで共有しました。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

○「あったかサロン」

・4月～10月、12～3月の合計で141名参加。特に7月の万華鏡づくり、8月のフレイル予防講座、9月の中国映画、12月の音楽レクリエーションの催し等、タイアップ時には参加者が多く、生活支援 Co. や包括支援センター職員との連携により地域の方が興味を持てるような内容で開催ができました。

・11月はあったかサロンスペシャルとして、子ども食堂やコーヒーボランティアの協力を得て、ケアプラザまつり内でカレーとコーヒーの販売を行いました。

○「子育て支援あのね」

・4月～3月で206組438名の利用がありました。初めて利用した方にケアプラザの事業をご紹介して、ママリフレッシュに繋がるケースもありました。祝日以外は子育て支援者による相談を行い、年に2回「のんびりんこ」から子育てパートナーにも協力いただきました。

○「ママリフレッシュ」

・4月～3月で112組216名の参加がありました。リピーターの方もいる中で、新規の参加も多くありました。12月はクリスマスバージョンとして先生と一緒にゲームや写真撮

影、記念カードのプレゼントをしました。

○「ケアプラザまつり」

・パンフレットの配布数 188 部。当日は 20 名のボランティアを始め、施設利用団体の協力も得て開催。こども食堂によるカレー販売や、登録団体の活動発表を行いました。

○「おやこで食育」

・中区ヘルスメイト、のんびりんことの共催。中区福祉保健センター、中区主任児童委員の協力のもと開催。7 組 17 名が参加。ケアプラザや主任児童委員の周知を行いました。また、食事に関して個別の相談対応も受けることが出来ました。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

○「施設利用マニュアル」

・団体登録時にはマニュアルに沿った説明を親切丁寧に行い、気持ちよくご利用頂けるよう配慮しました。

○「ケアプラザまつり」

・子ども食堂と貸館利用団体の発表の場、交流の場としてカレー販売や作品展示、ステージ発表を行いました。

○「子ども食堂連絡会」

・団体代表、区役所、区社協の他、新たに中区子育て支援拠点のんびりんこにも参加いただき、情報共有や今後の活動について話し合う機会を設けました。

○「環境整備」

・当館前の掲示板の整理を行いました。またエントランスも、チラシ等が見やすいように工夫しました。

・これまで使用していた施設の地図に変更部分があった為、新しく直した物を使用できるようにしました。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

○コーヒーボランティア 3 名にボランティア登録をしていただきました。

○ケアプラザまつりでは 20 名のボランティアに協力をいただいて、他団体の方やボランティアの方同士が交流できるような環境を設けました。また、ステージ発表と作品展示を行い、団体同士が交流できる場面づくりを考えました。

○障害児の余暇支援事業の一貫で、区社協と区内ケアプラザが協働し「ボラたま」を開講しました。

○シニアボランティアポイントのカードをお持ちの地域の方に、デイサービスでのボランティア活動をご紹介しました。

○後方支援団体のボランティア講師の活動について、ボランティアセンターと報告・相談をしました。また区社協を通じて生活支援ボランティアの方にケアプラザまつりに参加していただきました。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

○包括職員や生活支援コーディネーターと共に、地域の会合や行事に参加しました。内容や様子については、積極的に共有ファイルに入力し、他職種の職員にも伝えるよう意識しました。

○貸館利用団体にアンケートを取り、利用のしやすさや職員対応、環境整備等について情報収集を行い、グラフにまとめました。

○広報誌の発行日を 15 日→1 日に変更し、必要な情報が早く発信できるようにしました。内容も部門別に分けて、自主事業等の案内も見やすさを意識しました。会合や行事等、配布できる機会においては他職種の職員にも依頼しました。

○31 年 1 月～フェイスブック→ツイッターに変更し、SNS でもよりこまめに情報発信できるようにしていきます。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

○ケアプラザまつりでは、来館者に対しクイズ形式で民生委員の活動について掲示や地域保健福祉計画の周知をすることが出来ました。

○地域の居場所づくり、男性の参加、担い手の発掘などを目的に「歌声喫茶・みんなで歌う会」を開催し、男性参加者の増加につなげることができました。(6回の開催に対し計240名参加、そのうち男性は約41名 17.1%)。

○区内でもっとも外国籍が多い地区もあり、国際交流ラウンジとタイアップイベントを実施しました。企画内容は外国籍の方が楽しめる映画鑑賞会や防災の啓発など、参加しやすさを意識し、国際文化交流の振興に取組みました。

(2) 地域アセスメント (ニーズ・資源の把握・分析)

○マンションなど自由に入出入りできない場所に地域情報を届けることができるよう住民に働きかけ、広報誌などを配っていただけるといった新たな担い手としてつなげることができました。

○地域への情報発信として「生活支援コーディネーター瓦版」を毎月発行し、各地区の活動状況をはじめ、地域包括ケアシステムの啓発などコーディネーターとしての活動報告を広く発信することが出来ました。同時に所内での地域資源情報の共有ツールとしても活用しました。

(3) 連携・協議の場

○協議体の開催により「地域の関係性」について新たな気づきを参加者全員で共有することが出来た。また、「町内それぞれが異なる地域活動を行っていてニーズも違う」ことを再確認しました。協議体から地域の課題として「担い手として期待できる方が見つかりにくい」ため、地域で若い世代向けの活動をしていく必要がある」ことを参加者同士で確認しました。

○地域に向けて、介護予防・認知症の普及啓発を目的に「脳トレ体操」を実施しました。結果として地域住民、区・包括保健師と連携し、認知症の方でも参加できる元気づくりステーション「しゃんぴん会」に繋げることができました。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

○生活支援連絡会での情報共有を基に、区内コーディネーターと連携を図ることで、より広域な地域情報をキャッチし、地域課題の解決に役立てるよう努めました。また、チラシや広報誌を積極的に活用し、当ケアプラザのエリア以外の住民に対しても支援の輪を広げ、企画した自主事業への参加に繋げることができました。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

①地域におけるネットワークの構築

○主任ケアマネジャーや保健師等で地域交流COや生活支援COと協力し、地域資源のリストを作成しCM等の研修で活用することができました。

○民児協や地域の会合に出来る限り出席し、地域包括支援センター機能の周知を図ると同時に、地域住民との交流や地区の実態把握に取組みました。

○石川・打越地区では、民生委員・保健活動推進委員・友愛活動委員等の連絡会において防災の話し合いを行い、地域の見守り活動への啓発を行いました。また協議体を通して生活支援COと協力し、地域のネットワークづくりの話し合いを行いました。

②実態把握

○相談業務や介護予防支援業務などで得られた情報をもとに地区ごとの統計を取り、実態把握に取組みました。把握した情報は地域支援チーム会議や運営協議会等で発表し、情報共有に努めました。また、地域活動に積極的に参加し、その参加者や担い手の方から地域で課題を抱える住民の情報を得て、支援につなげることができました。

③総合相談支援

○毎日、朝夕のミーティングにおいて相談ケースの情報共有を図り、チームとして相談に対応しました。相談内容に応じて社会資源へつないだ先の情報を分類し、職員間で共有しました。

○月に一度の定例カンファレンスや随時のカンファレンスを区役所や関係機関と行い、支援困難ケースの対応にもチームで取組みました。

○地域の民生委員や住民から相談・情報提供を受け、迅速に連絡調整をおこない必要に応じて訪問支援を行いました。

(2) 権利擁護業務

①成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

○各関係機関からの相談において、成年後見制度や任意後見の対応が適当と思われるケースでは区役所や司法書士等と連携を図り、申立て等につなぐ支援を行いました。

○地域住民やサービス事業所の相談からニーズを探り、片づけ講座にて終活や片付け事者にまつわる消費者トラブルの啓発を実施しました。

○介護事業所等に生活保護制度についての講座や研修を行い、制度の啓発やスキルアップに取組みました。

②高齢者虐待への対応

- 高齢者虐待の早期発見と迅速な対応をおこなうことができるように中区役所との連携を強化し、情報提供・適宜同行訪問を行いました。虐待が疑われるケースに迅速に対応するために所内職員が誰でも同じ対応ができるよう体制づくりに取り組みました。
- ケアマネジャー向けに新山下地域ケアプラザ包括支援センターと共催で虐待の早期発見と適切な対応についての講座を開催しました。
- 高齢者虐待予防の観点から介護者負担軽減のために介護者に対するアドバイスや傾聴、一息入れる場として「介護者のつどい」を継続して年4回開催しました。今年度、集い参加者と地域住民向けに「住宅改修・福祉用具講座」を開催しました。

③認知症

- 第一中部地区において、認知症独居高齢者への対応について地域ケア会議を行い、地域での見守りやケアプラザとの連携を確認しました。
毎月実施している「あったかサロン」にて年4回、介護者の集いを実施しましたが、参加者の低迷が課題となっています。課題解決のため介護者への研修講座を実施し、参加者の増加に取り組みました。
- 地域の介護予防の観点から、コグニサイズ教室を生活支援COと協働にて二か所で実施、1ヶ所は自主グループ化につながり活動しています。
- 現状では認知症サポーター養成講座は企画に留まり、実施には至っていません。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

①地域住民、関係機関等との連携推進支援

- 主任ケアマネジャーや保健師等で地域交流COや生活支援COと協力し、地域資源のリストを作成しCM等の研修で活用することができました。
- 地域のサロンや区老連の研修会に出向き、ケアプラザの役割や介護保険制度の啓発を行いました。
- ケアマネジャーと薬剤師との交流会や包括レベル地域ケア会議を実施し両機関の連携推進に取り組みました。
- 介護予防講座において、中区歯科医師会と連携し年2回口腔機能改善講座を実施し、地域住民の口腔への意識を高揚することができました。

②医療・介護の連携推進支援

- 中区医療連携検討会に継続して参加し、医療機関とのネットワーク構築に取り組みました。また、ケアマネジャーと薬剤師との交流会や包括レベル地域ケア会議を実施しました。両機関の連携をきっかけに、残薬問題や薬局の役割を啓発することを目的に、チラシづくりの実施に繋げることができました。

③ケアマネジャー支援

○中区地域包括支援センター協働で新任予定ケアマネジャー対象に全4回実施しました。居宅支援事業所の主任ケアマネジャー・包括支援センター保健師職・区役所等の協力を得て自立支援に基づくプランの作成や対人援助について学ぶことが出来るように取り組みました。

○事例検討会を年2回開催し、個別支援の質の向上を図ると同時に、医療機関との交流会を開催し連携体制の構築に向け支援しました。

また、アセスメント能力を高められるように、区内6包括協働で事例検討会を年1回開催しました。

○個別ケース地域ケア会議を開催し、多職種によるケースの問題解決や地域情報の提供、顔の見える関係作りの支援をしました。また、民生委員など地域の方と一緒に支援出来るように体勢構築しました。

○区内ケアプラザ持ち回りでケアマネサロンを開催し、有益な情報提供や交換を行い、参加したケアマネジャーが担当するケースの課題解決にむけ話し合いを実施しました。生活支援コーディネーターにも協力を依頼し、地域の課題・インフォーマル資源について話し合いを実施しました。

○行政書士の研修を実施して生活保護制度の理解が深まるようにしました。

○その他の支援として、困難事例相談や制度に関する相談に関して区や関係機関と連携し対応できる体制を構築しました。また同行訪問や担当者会議へ出席し支援のアドバイス・情報提供をしました。必要に応じて利用者に説明なども行いました。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

○個別ケア会議を3回開催しました。

ニーズに応じて、地域の住民、警察、薬局、支援事業所、区役所など、多くの方に参加をしていただき、それぞれの専門的な視点からの意見を共有し、個別支援に活かせるよう取り組みました。開催後は振り返りを毎回行い、顔の見える関係づくりやお互いの職種への理解が深まるよう交流会を開催しました。

○包括ケア会議では、個別ケア会議で課題となった「残薬やかかりつけ薬局」について地域住民の理解、周知をどうしたらいいかを話し合いました。結果として残薬問題の普及啓発を目的に、チラシを作成し、関係機関の協力を得て、啓発活動につなげる予定です。

○寿地区のトコジラミの事例を基に区生活衛生課・生活支援課の協力を仰ぎ各支援事業所がどのような対応しているかを個別ケア会議で話し合いました。今後定期的に関係している衛生害虫・寿を知ろう等の講座において利用者や支援事業者への継続的な情報提供や周知ができるようなきっかけ作りができました。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

○要支援1・2または事業対象者の方々が地域において自分らしい生活ができるようにインフォーマルサービスを積極的に活用しました。

○委託事業所においても、担当者会議等にて担当利用者に地域の情報を伝え参加を促しました。

○主任ケアマネジャーや保健師が協力し新任ケアマネ向けに介護予防支援等について研修を行いました。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業
○継続したロコモ予防と認知症予防の 為、自施設の貸館を使用せず地域住民に身近な場所で体操講座とコグニサイズの講座を実施しました。両講座ともに、地域資源の少ない地域で実施し、近隣住民の参加が多く見られました。 ○第一中部地区においては、「なかなかイイネ!」とからめ、町内会長や地区社協の会長等に自主的な地域活動の必要性を説明し、31年度ロコモ講座の自主グループ化に向け協議しています。 ○口腔機能改善では中区歯科医師会と連携し歯科医によりフレイル講座を年2回実施しました。(8月・2月) ○栄養講座は口腔講座と一緒に、夏・冬とメニューを分け実施しました。また、寿地区を対象に「ことぶきデイ」と連携し栄養講座を行いました。(9月) ○第一北部地区では生活支援COと連携しコグニサイズの講座を自主化し元気づくりステーションとして立ち上げました。

5 その他

中区役所・包括支援センター・寿地区の関連機関等と協力し住民の健康増進や社会との繋がり構築を支援し生きがいや居場所づくりを目的に、ことぶき高齢者個別支援事業を実施し、延べ87名のご利用者の支援を実施しました。結果、平成31年度からは、寿地区の新センター事業につなげることができました。

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について
開所から22年が経過し、設備の細かいところでの老朽化が目立ってきました。公共施設に求められる安全と低コストを実現するため、適切なタイミングでの点検を実施しました。 30年度は細かい部分での症破修繕が目立ち、1階～3階の吊扉の故障(6箇所)をはじめ、トイレや厨房室・浴室等の水周りの修繕など多岐にわたりました。 施設利用者に迷惑がかからないように、予算の許す限り修繕工事等を区行政と相談しながら実施しました。

(2) 効率的な運営への取組について

職員が自己研鑽に努め専門技術を高めることで多様なニーズに適切に対応し業務の効率化を図りました。毎月の定例会議のほか、部門ごとにミーティングを実施し、各事業間、各専門職間で意見交換を行うことで効率的な施設運営に努めました。職員配置・業務分担を適宜見直していき、業務の省力化や省エネルギー化を図りました。

(3) 苦情受付体制について

法人による「苦情解決に関する規程」に基づき苦情受付担当者、苦情解決責任者、第三者委員の連携により迅速な対応に努めました。受付方法として、窓口の受付だけでなく、ホームページからの専用フォームや、苦情受付箱設置により、対面での訴えづらさに考慮した幅広い受付体制に努めました。また、日頃からの要望や不満点が苦情に至らないように、利用者アンケートを実施し、必要に応じてサービス体制の見直しや配慮に努め、利用者の満足度向上に取り組みました。

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

緊急時に全職員が敏速且つ的確に行動ができるように、年2回防災訓練を実施しました。施設ご利用者にも参加していただき、非難口や消火器の確認・利用方法について学びました。また、東日本大震災での教訓をもとに電子メール・アプリによる緊急連絡手段を法人として導入し、年数回情報訓練を実施し有事に備えました。

また、「福祉避難場所」として開設することを認識し、中区福祉避難場所会議への参加をはじめ、情報受伝達訓練の実施に取り組み、発災を想定した無線訓練を実施しました。

(5) 事故防止への取組について

重大な災害や事故には至らなくても、次に起きたときには事故に至ってしまう可能性がある事案や一歩手前の事例に対し、ヒヤリ・ハット報告書を作成し、職員間で共有しました。また、その事例を生きた教材として捉え、原因などを会議で検討し、業務改善の一助としました。

その他、横浜市や他施設で発生した事象事例を共有し、様々な事故を想定し業務に臨みました。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

法人による「個人情報保護に関する基本方針」及び「個人情報管理規定」に基づき個人情報の管理保護に努めました。各職員においては危機意識を常に持って業務に取り組めるように、定期的な研修などで意識啓発を図ると共に、チェックシートにより日頃の業務方法の確認を行いました。

各部署では、個人情報漏洩事故につながるような業務に対して、送付物のダブルチェックなどルール作りを行い、それが例外なく実施されるように、日々の確認を実施しました。何よりご利用者の個人情報を取り扱う意識を持って業務にあたりました。

(7) 情報公開への取組について

ケアプラザ広報誌「ほほえみがえし」を隔月（奇数月）発行のほか、生活支援コーディネーター瓦版を毎月発行し、ケアプラザの情報発信をはじめ地域の活発な活動内容を積極的に公開しました。誌面については、職員と話し合い見易さを重視に作成しました。

広報誌等のほか、Facebook の更新に力を入れ、最新の情報を公開出来るように心掛け、ソーシャルネットワークに於いても、施設内の行事だけでなく地域の活動紹介などを行い、幅広い情報公開に取組みました。平成31年1月からは、SNSからの発信を Facebook から Twitter に発信ツールを変更しました。

(8) 人権啓発への取組について

様々な出身、様々な人種、境遇、立場の住民が居住している地域性を鑑み、その中で、施設職員として、何が人権の侵害をし、どうして起こるのかを学ぶため、人権研修を実施しました。様々なニーズを受けとめるため職員の自己研鑽に努めました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

環境への配慮や資源の再利用を意識し業務に取り組みました。具体的には、窓の開閉をこまめに行い換気と温度調節を行ったほか、稼動していない部屋等は消灯するなど、ちょっとした気づきを大切に職員全員で取り組みました。

紙も大切な再利用と考え、裏紙や封筒・ダンボール等、再利用できるものは積極的に採用しました。

介護保険事業

● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

保健師 1名
主任ケアマネジャー 2名
社会福祉士 2名
介護支援専門員 3名

《目標に対する成果等》

要支援1・2または事業対象者の方々が住み慣れた地域で自分らしい生活ができるように自立支援に則った介護予防計画を作成し適切なサービスや社会資源と繋がれるように支援しました。

居宅介護支援事業所へ委託しているケースに於いては担当者会議等に積極的に参加し、ケアマネジャーやご利用者に地域の情報を伝えインフォーマルサービスへ繋がるように支援しました。30年度は、高齢者人口が地区によっては増加または、減少している状況がありました。地域の実情やご利用者のニーズに合わせた支援に取り組ましました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 通常の事業実施地域を越えて行う場合は交通費を実費請求
- 利用者の求めに応じて記録等の複写物を提供した場合は実費請求

《その他（特徴的な取組、PR等）》

利用者が介護サービスを利用するにあたり、複数の事業所から利用者が選択する際に、事業所リストを用いた上で公平中立な立場で支援しました。担当圏域が広域なため、地区によっては、積極的に訪問支援を行い、一人でも多くのご利用者のニーズに応えるよう取り組みました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
406	409	412	412	416	420
10月	11月	12月	1月	2月	3月
419	407	408	420	424	416

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者 1 名
居宅介護支援専門員 4 名

《目標に対する成果等》

要介護状態であっても、自身の意思決定が尊重され、生きがいをもった在宅生活が継続できるように、利用者の有する能力や環境に応じたケアプランを提案しました。ケアプラン作成においては御利用者や御家族の意向を尊重し、介護保険サービスのみならずインフォーマルなサービスの導入もプランに組み入れ、様々な資源を活用したプランの作成に取り組みました。また各事業所やサービス（社会資源）の特色や機能を把握し、幅広い選択肢の中からお本人に合った適切なサービスを提案に努めました。サービス利用時においては、計画に基づいたサービス提供が適切に実施されるように、各事業所との連絡調整を十分に行い、ご利用者に不利益がないようマネジメントに取り組みました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 通常の事業実施地域を越えて行う場合は交通費を実費請求
- 利用者の求めに応じて記録等の複写物を提供した場合は実費請求

《その他（特徴的な取組、PR等）》

地域包括支援センターや関連機関と協働することで、困難な課題を抱えたケースに積極的に関わり、個々のニーズに合わせた支援に取り組みました。

《利用者実績》

※ ~~4月~~ 単位は省略してください。 ~~9月~~ 【単位：人】

66	68	74	71	75	72
10月	11月	12月	1月	2月	3月
77	77	73	73	75	75

● 通所介護・認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 相談援助（生活指導）等
- 日常生活動作訓練（機能訓練）等
- 健康状態の確認
- 介護サービス
- 入浴・給食・送迎等の各サービス

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分

（要介護1）	789円
（要介護2）	921円
（要介護3）	1,060円
（要介護4）	1,196円
（要介護5）	1,333円
- 食費負担 750円

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9:45 ～ 16:50

《職員体制》

- | | |
|---------|----------------------|
| 管理者 | 1名（常勤兼務） |
| 生活相談員 | 3名（常勤兼務） |
| 看護職員 | 6名（非常勤兼務） |
| 介護職員 | 13名（常勤兼務3名・非常勤兼務10名） |
| 機能訓練指導員 | 4名（非常勤兼務） |

《目標に対する成果等》

ケアマネジャーによる居宅サービス計画書に基づいて、利用者個々に適切な通所介護計画書を作成し、通所介護サービスを計画的の提供に努めました。また、モニタリングやデイサービス通信「さわやか」を発行し、関係機関との情報共有に努め年間を通して安定した利用者数を確保に努め、1日のご利用者平均23名の方にご利用いただきました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

季節感を大切にし、お花見や運動会など四季折々のプログラムを取り入れてご利用者に満足頂けるサービス提供に取り組みました。

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
644	641	632	693	685	673
10月	11月	12月	1月	2月	3月
665	613	575	553	542	589

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 相談援助（生活指導）等
- 日常生活動作訓練（機能訓練）等
- 健康状態の確認
- 介護サービス
- 入浴・給食・送迎等の各サービス
- 運動器の機能向上・口腔機能の向上

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分

（事業対象者）	1, 890円
（要支援1）	1, 890円
（要支援2週1）	1, 890円
（要支援2週2）	3, 872円
- 食費負担 750円
-

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9:45 ～ 16:50

《職員体制》

- | | |
|---------|----------------------|
| 管理者 | 1名（常勤兼務） |
| 生活相談員 | 3名（常勤兼務） |
| 看護職員 | 4名（非常勤兼務） |
| 介護職員 | 13名（常勤兼務3名・非常勤兼務10名） |
| 機能訓練指導員 | 4名（非常勤兼務） |

《目標に対する成果等》

個々の利用者が住み慣れた地域で在宅生活が継続できるように各種機関と連携を図りサービスを提供に努めました。モニタリングやデイサービス通信「さわやか」を発行し、関係機関との情報共有に努め、年間を通して一日平均利用者数23名の方にご利用いただきました。介護予防の観点から、できることは積極的に行ってもらえるよう、ご利用者の体調を確認しながら支援に取り組みました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

季節感を大切にし、介護予防を意識した四季折々のプログラム等を取り入れ、重度化予防によりご利用者に満足頂けるサービス提供に努めます。

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
13	13	10	14	13	16
10月	11月	12月	1月	2月	3月
19	16	18	16	17	17

平成30年度「横浜市不老町地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(一般会計)<地域活動>

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	13,432,000	68,424	13,500,424	16,753,991	3,253,567	横浜市より
利用料金収入			0		0	この列は入力しない
指定管理料充当 事業			0		0	
自主事業収入			0		0	この列は入力しない
雑入	0		0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0	0	0	この列は入力しない
駐車場利用料金収入			0	0	0	この列は入力しない
その他(指定管理料充当)			0		0	
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	2,380,000		2,380,000	0	2,380,000	
その他(提案時控除 法人負担分)	3,612,480		3,612,480	0	3,612,480	
収入合計	19,424,480	68,424	19,492,904	16,753,991	2,738,913	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,681,000		11,681,000	10,138,246	1,542,754	
本俸	7,700,000		7,700,000	6,798,548	901,452	
社会保険料	1,400,000		1,400,000	948,506	451,494	
手当計	2,385,000		2,385,000	2,245,052	139,948	
健康診断費	30,000		30,000	31,148	1,148	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	140,000		140,000	95,988	44,012	
その他	26,000		26,000	19,004	6,996	
事務費	1,050,000		1,050,000	1,067,837	17,837	
旅費	10,000		10,000	734	9,266	
消耗品費	485,000		485,000	418,602	66,398	
会議賄い費	0		0	0	0	
印刷製本費	50,000		50,000	9,983	40,017	
通信費	250,000		250,000	159,974	90,026	
使用料及び賃借料	0		0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	170,000		170,000	103,734	66,266	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	20,000		20,000	12,936	7,064	
職員等研修費	15,000		15,000	1,284	13,716	
振込手数料	10,000		10,000	14,697	4,697	
リース料	40,000		40,000	51,192	11,192	
手数料	0		0	72,000	72,000	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	0		0	222,701	222,701	
事業費	260,000		260,000	79,306	142,967	
運営協議会経費	42,000		42,000	4,273	37,727	予算:指定額
指定管理料充当 事業	218,000		218,000	75,033	142,967	
管理費	5,499,000		5,499,000	4,657,543	549,775	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算:指定額
光熱水費	3,275,000		0	2,983,318	0	
電気料金					0	
ガス料金					0	この列は入力しない
水道料金					0	
清掃費	200,000		200,000	159,977	40,023	
修繕費	474,000		474,000	330,661	143,339	予算:指定額
機械警備費	100,000		100,000	68,803	31,197	
設備保全費	1,450,000		1,450,000	1,114,784	335,216	
空調衛生設備保守	200,000		200,000	186,339	13,661	
消防設備保守	100,000		100,000	86,003	13,997	
電気設備保守	100,000		100,000	74,336	25,664	
害虫駆除清掃保守	50,000		50,000	35,358	14,642	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	1,000,000		1,000,000	732,748	267,252	
共益費	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
公租公課	934,480	0	934,480	811,059	123,421	
事業所税			0		0	この列は入力しない
消費税	934,480		934,480	811,059	123,421	
印紙税					0	この列は入力しない
その他()					0	この列は入力しない
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分					0	この列は入力しない
当該施設分					0	この列は入力しない
二一ズ対応費					0	この列は入力しない
支出合計	19,424,480	0	19,424,480	16,753,991	2,341,080	
差引	0	68,424	68,424	0	397,833	

自主事業費収入	218,000		218,000	0	218,000	
自主事業費支出	218,000		218,000	0	218,000	
自主事業収支	0	0	0	0	0	⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0		0		0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0		0	使用料(横浜市への支払等)
管理許可・目的外使用許可収支	0		0		0	

平成30年度「横浜市不老町地域ケアプラザ」

収支予算書及び報告書(特別会計)

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	34,235,000		34,235,000	34,235,000	0	横浜市より
指定管理料(介護予防)	151,000		151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000		5,789,000	5,789,000	0	横浜市より
利用料金収入			0		0	
指定管理料充当事業(包括)	0		0		0	
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0		0	
指定管理料充当事業(生活支援)	0		0		0	
自主事業収入			0		0	
雑入	0	0	0	5,000	5,000	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理充当)	0		0	5,000	5,000	講師謝礼金収入
その他(提案時控除 法人負担分)	0		0	0	0	
収入合計	40,175,000	0	40,175,000	40,180,000	5,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	45,412,000	0	45,412,000	39,317,315	6,094,685	
本俸	23,000,000		23,000,000	21,519,892	1,480,108	
社会保険料	5,115,000		5,115,000	5,281,176	166,176	
手当計	16,297,000		16,297,000	11,826,725	4,470,275	
健康診断費	100,000		100,000	53,632	46,368	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	700,000		700,000	551,934	148,066	
その他	200,000		200,000	83,956	116,044	
事務費	425,940	0	425,940	719,563	293,623	
旅費	2,500		2,500	752	1,748	
消耗品費	50,000		50,000	94,252	44,252	
会議賄い費	0		0	0	0	
印刷製本費	0		0	1,500	1,500	
通信費	113,440		113,440	278,296	164,856	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	160,000		160,000	103,736	56,264	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	14,000		14,000	12,936	1,064	
職員等研修費	60,000		60,000	45,040	14,960	
振込手数料	6,000		6,000	1,239	4,761	
リース料	14,000		14,000	13,608	392	
手数料	6,000		6,000	75,700	69,700	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	0		0	92,504	92,504	
事業費	1,153,000	0	1,153,000	1,079,885	73,115	
協力医	630,000		630,000	252,000	378,000	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	63,000		63,000	68,643	5,643	
指定管理料充当事業(介護予防)	151,000		151,000	204,581	53,581	
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000	554,661	245,661	予算:指定額
管理費	1,461,500	0	1,461,500	1,238,065	223,435	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算:指定額
光熱水費	955,500	0	955,500	793,033	162,467	
電気料金			0		0	
ガス料金			0		0	
水道料金			0		0	
清掃費	45,000		45,000	42,523	2,477	
修繕費	126,000		126,000	87,893	38,107	予算:指定額
機械警備費	20,000		20,000	18,289	1,711	
設備保全費	315,000	0	315,000	296,327	18,673	
空調衛生設備保守	50,000		50,000	49,533	467	
消防設備保守	25,000		25,000	22,861	2,139	
電気設備保守	20,000		20,000	19,759	241	
害虫駆除清掃保守	10,000		10,000	9,398	602	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	210,000		210,000	194,776	15,224	
共益費	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税			0		0	
その他()			0		0	
事務経費(計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	
本部分			0		0	
当該施設分			0		0	
二一ズ対応費			0		0	
支出合計	48,452,440	0	48,452,440	42,354,828	6,097,612	
差引	8,277,440	0	8,277,440	2,174,828	6,102,612	

自主事業費収入						
自主事業費支出						
自主事業収支	0			0		⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入				0		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出				0		使用料(横浜市への支払等)、駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支				0		

平成 30年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市不老町地域ケアプラザ

平成30年4月1日～平成31年3月31日
(単位:千円)

	科目	介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			予防通所介護・第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	24,300	24,560	-260	12,264	11,461	803	86,253	77,333	8,920	5,885	4,594	1,291
	その他	0	0	0	237	447	-210	10,857	14,497	-3,640	0	0	0
	介護予防ケアマネジメント費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事業・負担金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	受託収入	0	0	0	237	447	-210	0	0	0	0	0	0
	経常経費寄附金収入	0	0	0	0	0	0	0	20	-20	0	0	0
	受取配当金収入	0	0	0	0	0	0	44	93	-49	0	0	0
	受入研修費収入	0	0	0	0	0	0	100	54	46	0	0	0
	雑収入	0	0	0	0	0	0	0	9	-9	0	0	0
	積立資産取崩収入	0	0	0	0	0	0	0	3,500	-3,500	0	0	0
	施設利用料収入	0	0	0	0	0	0	2,380	2,380	0	0	0	0
	その他(寿事業 他)	0	0	0	0	0	0	8,333	8,441	-108	0	0	0
	収入合計(A)	24,300	24,560	-260	12,501	11,908	593	97,110	91,830	5,280	5,885	4,594	1,291
支出	人件費	0	0	0	20,318	21,023	-705	64,327	63,072	1,255	0	0	0
	事務費	0	0	0	1,325	1,177	148	9,507	8,860	647	0	0	0
	事業費	0	0	0	14	17	-3	8,023	7,099	924	0	0	0
	管理費	0	0	0	0	0	0	5,562	5,892	-330	0	0	0
	その他	15,396	15,403	-7	0	0	0	3,115	3,199	-84	0	0	0
	利用者負担軽減額	0	0	0	0	0	0	38	7	31	0	0	0
	消費税	0	0	0	0	0	0	0	455	-455	0	0	0
	介護予防プラン委託料	15,396	15,403	-7	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	施設利用料相当額	0	0	0	0	0	0	2,380	2,380	0	0	0	0
	租税公課	0	0	0	0	0	0	20	8	12	0	0	0
	固定資産取得支出	0	0	0	0	0	0	407	300	107	0	0	0
雑支出	0	0	0	0	0	0	270	49	221	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
支出合計(B)	15,396	15,403	-7	21,657	22,217	-560	90,534	88,122	2,412	0	0	0	
収支 (A) - (B)	8,904	9,157	-253	-9,156	-10,309	1,153	6,576	3,708	2,868	5,885	4,594	1,291	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。

平成30年度 自主事業報告書

横浜市不老町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子育て支援 「あのね」	<p><目的> 子育て中の親子に交流の場の提供を行う。 また、場の提供だけでなく、平成25年度より開始された子育て相談員による子育て相談も行っている。子育て情報の提供や、子育てに関する講座等の開催も実施し、子育て中の親子の支援を行っていく。</p> <p><内容> ・毎月第1・2・4・5の月曜日(10:00～16:00)開催 ・10:00～12:00 子育て相談員による子育て相談実施</p>	毎月第1・2・4・5 の月曜日 (10:00～16:00)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ママ リフレッシュ	<p><目的> 育児中の母親に対して、ヨガを取り入れた運動を通して、心身をほぐし体調を整えていくことを目的としている。</p> <p><内容> ・前半は親子で身体を動かしていく ・後半は、母親だけ体操で身体を動かしていく ・乳幼児については職員が保育、見守りを行っていく</p>	毎月第4金曜日 10:30～12:00

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア 養成講座 (ボラたま)	<p><目的> ・夏休み余暇支援事業に繋げるための障害理解、対応等の基本を学ぶ。 ・中区内6Cp及び中区社協共催事業として実施。</p> <p><内容> ①講師：障害児・者支援 啓発ネット「わっしょい」又は中区自立支援協議会(児童部会)又はポンテ ②ワークショップ(体験型講座)、ロールプレイを見て、関わり方を学ぶ</p>	7月31日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアプラザ広報 活動 (広報紙「ほほえみがし」の発行・Facebookページの開設など)	<p><目的> 地域活動推進・ケアプラザ広報周知</p> <p><内容> 地域福祉保健活動関連の情報や、ケアプラザ事業、地域活動について情報発信し、地域活動への参加促進を促すため、またケアプラザの広報周知のために、広報紙「ほほえみがし」の発行と、定期的なホームページの更新、Facebookページの開設を行う。年度内にSNSでの広報をFacebookからtwitterへ変更した。</p>	「ほほえみがえし」…隔月発行 (奇数月)年6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
あったかサロン	<p><目的> 地域住民の居場所作り、子どもから大人まで全世代型サロン。</p> <p><内容> コーヒーボランティアによるコーヒー等を提供。子供から大人まで誰でも来れるサロンを実施。 また、サロンの中で様々な講座を開催し利用者の拡大を図った。</p>	毎月第4木曜日 13:30～16:00

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアプラザ まつり	<p><目的> 貸し館利用団体の交流や発表の場、ケアプラザの周知。ケアプラザ所在町内の活動の活性化。</p> <p><内容> 貸し館利用団体による演奏や食べ物の販売。 ケアプラザ周知のため機能を紹介。 地域のボランティアによる出店などを行い、200人程度の利用につながった。</p>	11月23日

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者の集い	<p><目的> 自宅で介護をしている介護者同士で話をする場を設け、介護方法や介護で困っていることを話し合うことで、介護に対する考え方や精神的負担を軽減する。</p> <p><内容> 介護者同士で近況報告や介護を語りある場を提供。今年度は、コミュニティサロンの時間中に共催した。また、不老町デイサービスと近隣のデイサービスに呼びかけ家族会の支援を実施。</p>	年4回 (4/26・7/26・10/25・1/24)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
事例検討会	<p><目的> ケアマネジャーをはじめとした介護関係者・医療従事者等多職種が事例を通して新たな気づきを得られるようにする。</p> <p><内容> 事例を図で示し、支援内容や支援方針を視覚化する事で情報の整理や新たな気づきを得られるようにする。</p>	年2回 6/14・11/13

事業名	目的・内容	実施時期・回数
虐待防止講座	<p><目的> 高齢者への虐待防止のために介護事業所等の関係機関がすべき事を学ぶ。</p> <p><内容> 介護関係者や民生委員等を対象に講座を開催。新山下地域ケアプラザと合同開催とする。介護者の負担軽減や心理的負荷の解消により、虐待の芽を摘む。虐待発見時の連携や情報共有の有り方などを学ぶ。</p>	11月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
終活・消費者被害防止	<p><目的> 自分の家族に伝えておきたい事や生前にすべき事を片付けを通し学ぶ、また不用品回収の詐欺被害に合わないよう手口を知る。</p> <p><内容> 片付け専門業者を講師に招き、生前からの整理や片付けの重要性を事例を通して紹介。また、片付け業者による買い取り詐欺の実態を伝え消費者被害防止の啓発を行う。あつたかサロンで実施。</p>	5月24日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
すまいる体操教室	<p><目的> 地域住民の介護予防 転倒防止 認知機能向上</p> <p><内容> 吉田中学校コミュニティハウスにて、高齢者向けの体操教室を実施。転倒や腰痛・肩こりなどを予防するためタオルやボールを用いた体操を実施。</p>	毎月第3水曜日 全11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
コグニサイズで頭と体を動かそう	<p><目的> 比較的活動が少ない地域でコグニサイズの教室を展開し、次年度の自主化を目指す。</p> <p><内容> 町内会長所有のビルの一室を借り、コグニサイズの教室を開催。地域住民の介護予防とともに、民生委員や保健活動推進員等の定期的な活動の場になれるよう自主化を目指す。</p>	H30年6月～ 第3金曜日 全10回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
口腔健康講座	<p><目的> 口腔からのフレイル予防そして夏と冬の栄養が有り簡易な食事メニューを学び地域住民の健康増進を図る。</p> <p><内容> 歯科医により口腔フレイル予防の講座を前半で行い、フレイル予防のための栄養あるメニューを栄養士と一緒に作成。</p>	8/23・2/28

事業名	目的・内容	実施時期・回数
コンビニ栄養講座	<p><目的> 簡易宿泊所で生活する方々の栄養への啓発を行う。</p> <p><内容> 簡易宿泊所には部屋に調理設備が無く電子レンジも所有していない方も多。そこにお住まいの方々が最も利用するコンビニの食材を用いて簡単な調理または調理が無くても栄養のバランスが取れるメニューを紹介する。「はまかぜ」が自主運営委していることぶきデイと共催</p>	9月13日

青春を唄おう (歌声喫茶)	<p><目的> フォークソングを歌う歌声喫茶。団塊世代の交流の場づくり。普段、ケアプラザの活動に参加が少ない方に集まっていただき交流を深めて頂く。自主化を目指しているが、この事業以外の交流活動のきっかけになることを目指す。</p> <p><内容> 主に団塊の世代（特に男性）を中心に集まっていただく。普段、ケアプラザの活動に参加に機会が少ない方に集まっていただき交流を深めて頂く。自主化を目指しているが、この事業以外の交流活動のきっかけにもなることを目指す。</p>	6月～9月 4回 第1 金曜日
------------------	---	---------------------------

事業名	目的・内容	実施時期・回数
脳トレ体操（コグニサイズ）	<p><目的> 介護予防・認知症予防 交流の活性化。ケアプラザとの関係の構築。</p> <p><内容> 自主化を目指して、4回コースでコグニサイズを実施。ケアプラザと初音町・黄金町・日ノ出町の関係性の構築のためのきっかけにもしていく予定。認知症予防・介護予防。</p>	6月～4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
高架下 軽食サロン	<p><目的> 地域交流の活性化及び介護・認知症予防の推進</p> <p><内容> 自主化を目指して、4回コースでコグニサイズを実施。ケアプラザと初音町・黄金町・日ノ出町の関係性の構築のためのきっかけにもしていく予定。地域の店舗で扱っている食材を使いながら調理・食事をしながら交流を深める。認知症予防・介護予防。</p>	6月～4回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ホット茶話会	<p><目的> 「対話」を通じたコミュニケーション・交流の活性化と閉じこもり予防。</p> <p><内容> テーマに沿って「対話」をする。自分の考えを話し、相手の考えもきちんと聞くことで新しい気づきがうまれる。初対面でも旧知の仲でも会話が出来るように勧めていく。精神保健福祉士の方にボランティアとしてご協力いただく。外出が少なくなっている方にも参加し易いように、出入りしやすい店舗を使わせて頂く。認知症予防・介護予防。</p>	6月～2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
広場ダンス	<p><目的> 外国人の方との交流・多文化共生社会の形成</p> <p><内容> 中国の方に人気の広場ダンスを国籍・年齢問わず一緒に行うことで交流を深める。地域包括ケアシステムに外国籍の方も関わりやすくするような関係性作りを行う。認知症予防・介護予防。</p>	10月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
映画喫茶・不老 (中国版)	<p><目的> 多国籍文化への理解・介護予防・認知症予防</p> <p><内容> 中国映画を国籍・年齢問わず一緒に鑑賞することで交流を深める。中国籍の方が他の地域イベントにも参加し易い関係性を作る。認知症予防・介護予防。</p>	9月27日 1回 あったかサロン内

事業名	目的・内容	実施時期・回数
万華鏡を作ろう	<p><目的> 親子をはじめ多世代交流の活性化及び地域活動の周知。また、ケアプラザの役割や機能を知ってもらうきっかけづくり</p> <p><内容> 万華鏡製作。世代を問わず参加して頂き多世代交流の場とする。小学生と保護者がケアプラザに来館することで、若い世代に館内の様子や地域のイベントに興味を持ってもらう。</p>	7月26日 1回あつ たかサロン内

事業名	目的・内容	実施時期・回数
生活保護制度の 概要の講座	<p><目的> 不老町エリアは生活保護受給者の割合が高い為生活保護制度の仕組みを学び知識の習得が出来るように企画した</p> <p><内容> 司法書士の方を講師にお願いし生活保護法の概要の説明と事例を用いて理解が深まるような内容とした。また、現在支援している中で困っている事を話し合いの機会を設ける。</p>	9月13日

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市不老町地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
子育て支援 「あのね」	①乳幼児・保護者	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	②概ね20組		包括						
	③無料		介護						
			生活						
ママリフレッシュ	①乳幼児・保護者	¥66,816	地活	¥44,416	¥22,400	¥0	¥66,816	¥0	¥0
	②15組/回		包括				(12回分)		
	③200円/組		介護						
			生活						
ボランティア講座 (ボラたま)	①地域住民	¥2,500	地活	¥2,500	¥0	¥0	¥0	¥2,500	¥0
	②20名		包括						
	③無料		介護						
			生活						
ケアプラザ広報 (広報紙「ほほえみがえし」の発行など)		¥96,348	地活	¥96,348	¥0	¥0	¥0	¥0	¥96,348
			包括						(うち3回外注)
			介護						¥26,448
			生活						
あったかサロン	①地域住民	¥32,000	地活	¥21,300	¥10,700	¥0	¥0	¥22,000	¥10,000
	②20名/回		包括						
	③100円(ドリンク代)		介護						
			生活						
ケアプラザまつり	①地域住民	¥49,154	地活	¥7,454	¥41,700	¥0	¥0	¥49,154	¥0
	②200名		包括						
	③300円		介護						
			生活						
おやこで食育	①乳幼児・保護者	¥1,120	地活	¥695	¥425	¥0	¥0	¥0	¥1,120
	②10組		包括						(行事保険)
	③25円/名		介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市不老町地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
介護者の集い	中区在住の介護者	¥0	地活						
	10名		包括	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	無料		介護						
			生活						
第1回事例検討会	不老町エリアの支援事業所	¥5,000	地活						
	20名		包括	¥5,000	¥0	¥0	¥5,000	¥0	¥0
	無し		介護						
			生活						
虐待防止講座	中区の介護支援専門員	¥7,500	地活						
	20名		包括	¥0	¥0	¥0	¥7,500	¥0	¥0
	無料		介護						
			生活						
終活・消費者被害防止	エリアの地域住民	¥0	地活						
	20名		包括	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	無料		介護						
			生活						
すまいる体操教室	高齢者全般	¥56,512	地活						
	20名		包括	¥56,512	¥0	¥0	¥55,000	¥1,512	¥0
	無料		介護						
			生活						
コグニサイズで頭と体を動かそう	高齢者全般	¥50,000	地活						
	20名		包括	¥50,000	¥0	¥0	¥50,000	¥0	¥0
	無料		介護						
			生活						
口腔健康講座 (フレイル予防教室)	高齢者全般	¥26,430	地活						
	20名		包括	¥26,430	¥0	¥0	¥24,000	¥2,430	¥0
	無料		介護						
			生活						
コンビニ栄養講座	高齢者全般	¥17,000	地活						
	20名		包括	¥17,000	¥0	¥0	¥12,000	¥5,000	¥0
	無料		介護						
			生活						
第2回事例検討会	不老町エリアの支援事業所	¥5,000	地活						
	20名		包括	¥5,000	¥0	¥0	¥5,000	¥0	¥0
	無し		介護						
			生活						
生活保護制度の講座	不老町エリアの支援事業所	¥0	地活						
	30名		包括	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	無し		介護						
			生活						
フレイル予防教室 (栄養・口腔講座)	高齢者全般	¥30,849	地活						
	20名		包括	¥30,849	¥0	¥0	¥24,000	¥6,849	¥0
	無料		介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市不老町地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
青春を唄おう (歌声喫茶)	地域住民	¥0	地活						
	35名		包括						
	無料		介護						
			生活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
脳トレ体操 (コグニサイズ)	地域住民	¥36,200	地活						
	25名		包括						
	無料		介護						
			生活	¥36,200	¥0	¥0	¥20,000	¥0	¥16,200
ホット茶話会	地域住民	¥0	地活						
	15名		包括						
	無料		介護						
			生活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
広場ダンス	地域住民	¥0	地活						
	15名		包括						
	無料		介護						
			生活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
映画喫茶・不老 (中国版)	地域住民	¥108	地活						
	30名		包括						
			介護						
			生活	¥108	¥0	¥0	¥0	¥0	¥108
万華鏡をつくろう	地域住民	¥2,600	地活						
	25名		包括						
	100円		介護						
			生活	¥0	¥2,600	¥0	¥0	¥2,600	¥0
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						

事業ごとに別紙に記載してください。